

新型コロナウイルスワクチン接種に関する国への要望

(1) 新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用及び財源の確保について

ワクチン接種については、世界的にみても前例のないワクチン接種ではあるが、住民の命と健康はもとより社会経済にも極めて大きな被害を及ぼしている状況にあることから、市町村においてはワクチン接種の安全かつスピーディーな実施に向け取り組んでいるところである。

については、国におかれては、安心かつ安全な接種体制の確保に向けた費用については、上限額など条件を付することなく職員の人件費も含め全額国において確保されたい。

さらに、診療所等の医療機関の協力がなくては、国が示す期間内に接種を終了させることが難しいと考えられることから、接種に携わる診療所等の医療機関については協礼金などの財政支援策を講じられたい。

(2) 接種体制の確保に向けた必要な情報の提供について

ワクチンの供給時期及び供給量並びに接種の時期などの情報提供がなされなければ、実施主体となる市町村において、ワクチン接種計画の策定及び計画的な接種を行うことができないため、これらの情報を速やかに提供されたい。

また、接種体制の確保を円滑に進めるため、さらなる協力体制の構築に向け、日本医師会をはじめ関係機関への協力を要請するとともに、情報については市町村に提供するタイミングにおいて関係機関にも提供されたい。

(3) 住民への周知及び事業所への協力要請について

ワクチン接種については、すべての住民が安心して接種できるようワクチンに関する安全性や副反応に関する情報を周知するとともに、就労者においてもワクチン接種が容易にできるよう事業所への協力を求められたい。

新型コロナウイルスワクチン接種に関する大阪府への要望

(1) 接種体制の確保に向けた情報の提供及び関係機関への協力要請について

ワクチン接種において、アナフィラキシーショックが発症する恐れがあることから、問診等で既往歴などを十分に聞き取り、さらには接種後の経過観察を行う必要がある。

そのため、すべての住民が安心して接種できるよう国などから素早くワクチンの安全性や副反応に関する情報を入手するとともに、接種に係る課題及び副反応などへの対応策の共有を行うなど、リーダーシップを発揮し市町村への支援に努められたい。

さらに、ワクチン接種に係る体制については、大阪府医師会をはじめ関係機関との協力が欠かせないことから、さらなる協力体制の構築へ向け協力を要請されたい。

(2) 接種体制の手順（モデル）作成及び模擬訓練の実施について

コロナ禍において国内でも前例のない規模のワクチン接種であるため、3密対策など一層の対策が必要であるため、集団接種における具体的手法及び会場設営に係る手順（モデル）を示していただきたい。

加えて、全市町村参加による模擬訓練を実施されたい。

大阪府市長会 会長 澤井 宏文